

天台宗開宗1200年慶讃大法会



延暦寺根本中堂は、連日各種の報恩法要が行われ、賑わいを見せた(写真)10月20日 天台仏教青年連盟会員ら二〇名による報恩法要



The Tendai Journal

天台ジャーナル

広報天台

2005年(平成17年) 11月1日火曜日(毎月1日発行)

1部50円(消費税込・送料別)
発行所/天台宗出版室
発行人/出版室長 工藤 秀和
〒520-0113 大津市坂本4-6-2
天台宗務庁内
電話 077-579-0022 (代)
Eメール/T-Press@tendai.or.jp

総登山・総授戒
あなたの中の
仏に会いに

極微 ごくみ

人間は、いつの日か自然を征服するだろうという西欧の考え方は、すっかり影を潜めてしまった感がある。アメリカのハリケーン災害の惨状を目の当たりにして、圧倒的な自然の猛威に人為の小ささを感じた。おまけに地球温暖化がハリケーンや台風凶暴化に拍車を掛けているという。

人間自らが自然の猛威をパワーアップさせているのなら、自業自得というべきか。しかし、戦争もそうだが、富の恩恵を一番受けている層はいち早く安全な場所へ避難できたり、一番被害を受けないすむのに、一番被害を受けるのは貧困層であったり、貧しい国や地域であるのは、どうも納得できない。

慶讃大法要結願を迎える

十月一日に開闢した天台宗開宗千二百年慶讃大法会大法要が、同三十一日に結願を迎えた。結願大法要は全国から宗の役職者や教区の代表者約三百七十名が出仕。また、この大法要に併せ、天台宗と延暦寺両内局に加えて天台宗務庁および延暦寺一山寺院住職により法華経の全巻読誦を行い、祖師への報恩の誠が披瀝された。

報恩一色の祖山

一カ月に亘った大法要には天台宗内の各団体はもろろん、比叡山にゆかりの二十六宗派、教団が報恩法要を奉修した。また、伝統芸能など慶讃行事も数多く奉納され、期間中祖山は宗祖伝教大師の遺徳を讃える報恩感謝一色に染まった。

秋篠宮両殿下ご登叡

また大法要期間の五日には、秋篠宮文仁親王同妃両殿下が比叡山に御参拝になり、聖徳太子報恩法要「上宮太子御影供」に御臨席になられた。



宮本祖豊侍真の案内で、浄土院を御参拝される秋篠宮文仁親王同妃両殿下(10月5日、報恩法要御臨席後)

法の灯

「ウォーキング」と「行」

九州東教区布教師会会長 青山 映信

最近、ウォーキングを楽しんでいる人々を町のあちこちでよく見かける。「健康」に対する関心が、年々高まっているからである。「健康でなければ、どんなに恵まれた境遇であっても幸せではない」ということに多くの人が気付くようになった。

いや、一昔前でも、そんなことは誰でも分っていた。けれども、少々苦しくても、働いただけ働かなくても、家族に満足なこともし

キロを歩く「行」がある。また比叡山の「千日回峰行」は一日に三十キロから始まり、最後は八十キロの行程を歩く行である。千日で四万キロとなり、地球を一周する計算である。まさに荒行である。

我々凡夫でも、いざ歩こうと思えば、実行するには勇気が必要だ。まして、日々継続するには強固な意志が必要である。

荒行に挑む行者は、ただひたすらに歩くことで、心を練り、磨くのである。それを支えるのは、衆生を救おうという強固な道心である。

脈々と流れるみ教え

宗祖大師が「すべての人々は平等であり、ほとけになれる」という法華一乗の教えによって天台宗を開かれてから、来年一月二十六日に千二百年の正当を迎える。法華一乗の教えによって天台宗が開かれて以来、日本の伝統仏教の祖師方の多くは比叡山で修行された。大師のみ教えは天台宗ばかりではなく、日本仏教の一大源流として脈々と流れている。比叡山が日本仏教の母山と呼ばれ、今回の大法要に、多くの宗派、

期間中最大の報恩行

結願を迎えるにあたり西郊

宗務総長選挙が告示

任期満了に伴う宗務総長選挙が、十月十九日に告示された。立候補の届出は十一月一日から五日まで。投票は、同十二日から二十五日までで、有権者(全国)の天台宗法人寺院住職・前住職・副住職(約二七四〇名)から、投票用紙の持参又は郵送によって行われる。

開票は十一月二十五日。同日午後には、新宗務総長が誕生する。任期は平成十七年十二月十二日から二十一年十二月十一日までの四年間。



花想風言

キクは皇室の紋章だ。比叡山根本中堂の大屋根にも十六弁の菊が金色に輝いている。

中国では紀元前七世紀に延命長寿の花として鑑賞され、わが国へは奈良時代の七世紀に不老長寿の「靈花」としてもたらされた。半耐寒性の多年草だから、春夏秋冬いずれの季節にも咲き、たくさんの交配種が育てられた。
先の昭和天皇のご不例で昭和の世が終わろうという大騒ぎのころだった。天皇が崩御され、大喪の礼が真冬と想定された場合、献花のため大量に必要な白ギクはいつたどこで調達するのだろうかかと、筆者が勤務した週刊誌編集部で話題にあがった。
冬のさなかで、日本ではいくら電照キクがあつたとしても間に合わない。八方手を尽くして、業者に問い合わせると、

鬼手仏心

あなたが大切だ

一隅を照らす運動総本部長 壬生 照道

先頃、こんな広告を目にしました。

「命は大切だ。命を大切に。そんなこと何千万回言われるより『あなたが大切だ』誰かがそう言ってくれたら、それだけで生きていける」。

日本の自殺者は年間三万五千人に上り、家出人は十万人に達しています。また、青年の殺人については、毎日ニュースで報じられている通りです。その都度有識者の方々が「普段からの会話が重要だ」「学校へナイフを持ってこないように指導すべきだ」などの論評をされます。それは、間違っていないと思

ます。

しかし、私はなぜかしら小石が入った靴を履いているような違和感を感じてしまうのです。

今夏に開催された、宗教サミット十八周年記念行事のシンポジウムで、奈良康明駒澤

大学学長が「マザーテレサが『愛(仏教なら慈悲)の反対は憎しみではない。それは無関心です』と言われていたことに深い衝撃を受けた。今の我々は他者が悲惨な状況におかれているのではないかと述べられました。傷ついた心は敏感です。通

り一遍の白々しい一般論や、その場限りの言葉などの「無関心」にはそっぽを向いてしま

います。いや、かえって逆効果になってしまいうでしょう。大多数に向き合うのではない、ただひとり真剣に向き合うことです。

因があれば果があるとは仏教の教えるところでは、日本は長い年月の因によって今日の果を生じました。この荒唐は今日明日には解決しないでしょう。他者を思いやることから第一歩を始めたと思

第20回 キク厚物咲き 福田徳衍(文・写真)

南米とアフリカ・ケニアのキリマンジャロの麓にある大農園が白キクの産地だとわかった。「それっ」とばかり、カメラマンと記者がアフリカに派遣された。
キリマンジャロの麓には二階建てのバスがマサイ族、キクユ族といった地元従業員の送迎に走り回っていた。そのプランテーションは英国人のオーナーの手で厳重に管理され、同じ丈の長さを保った白ギクが長大なハウスの中に整然と並び、みをつけて出番を待っていたという。
八九年一月七日に昭和天皇は崩御。翌日からは平成と改元され、二月二十四日に大喪の礼が新宿御苑で行われた。
この時使われた大量の献花用キクは、南米とアフリカから航空機で運ばれた。

◆プロフィール
一九三六年東京生まれ。十一歳から二十一歳まで比叡山で小僧生活をして過ごした。元朝日新聞社記者。信越教区新潟部・徳法院住職。俗名 福田 徳郎。

堅牢地神讃える妙音十二楽



去る十月十二日、鹿児島県日置市吹上町の常楽院(常楽院法流・栗山光人住職)において、「妙音十二楽法要」が執り行われた。「妙音十二楽法要」は、琵琶や笛、太鼓など、八種類の楽器を使い、十二通りの曲を演奏して堅牢地神(大地の神)の威徳を讃える法要。この鹿児島島の地に常楽院を開いた宝山検校を偲ぶと共に、歴代住職の墓前供養も兼ねて毎年、十月十二日に執り行われる。



特別布教実行委員により奉修された「常楽院妙音十二楽墓前供養」法要(大導師は九州西教区・寺田豪明宗務所長)。法要に先立ち、妙音十二楽の保存に尽力された、日置市長・宮路高光氏、吹上町の保存会、同上田尻、中田尻、下田尻の自治会に感謝状が授与された。

常楽院の歴史は平安時代に遡る。宗祖伝教大師が唐から帰り、比叡山に延暦寺を建立した時、その地鎮祭を修したのが、九州の地神盲僧八名である。「地神盲僧」とは、琵琶を演奏し、主に地神経や地神陀羅尼経を唱えながら三宝荒神や土地の神のお祓いをする盲僧のことである。この時のことは、盲僧縁起に「伝教大師が比叡山入山の時、毒蛇が出て障害をなしたが、琵琶を弾きながら地神陀羅尼経を唱えてそれを祀り鎮めた」と伝えられている。これが縁で盲僧達は天台宗に帰依したが、その中の一人に常楽院開祖、満正院阿闍梨がいた。
満正院阿闍梨は大同三(八〇八)年、近江逢坂山に正法山常楽院を建立、盲僧の法儀を確立し、晩年には「妙音十二楽」の曲律を制定している。
時代はずっと下がり、建久七(一一九六)年、同院第十九代住職宝山検校は、
常楽院に伝わる伝統法要
源頼朝公の命を受け、祈祷僧として島津氏初代忠久に従って鹿児島に下る。そして、日置郡伊作郷(今の吹上町田尻中島)の地に常楽院を移し、島津家の武運長久や、国土安穩、万民利益を祈った。この時、「妙音十二楽」がこの地に伝えられたのである。その後、常楽院は移転や戦災で全焼するなど、苦難の歴史を辿り、戦後は宮崎県日南市に移っていたが、平成八年に現在地に本寺が戻っている。
「妙音十二楽」は、かつては南九州各地で盲僧達により演奏されてきたが、現在はこの常楽院での法要の時にしか行われなくなっており、鹿児島県の無形文化財に指定されている。
本年は開宗千二百年慶讃大法会記念として、九州西・九州東の教区宗務所長、宗議会議員等を中心とした「鹿児島県特別布教実行委員会」のメンバーが「常楽院妙音十二楽墓前供養」法要を修した。

A Story in the Tendai

コリアンタウンの市場の中で

大阪鶴橋・明徳院 宮本明愛 師

仏と生きる

Vol.16

大阪・鶴橋は日本有数のコリアンタウンである。在日の二世、三世が多く、日本語と韓国語が交互に飛び交って、アジア都市を形成している。鶴橋駅を降りると、くねくねとした迷路のような市場が続く。鮮魚や肉、野菜、乾物に加えて、キムチや韓国麺などを売る店が多く、市場独特の雑然とした活気の湯気が立ち上っている。権明愛（日本名は宮本明愛）が院長をつとめる明徳院（大分・霊山寺別院）はこの市場の一角にある。

徳をもつて怨みに報ず

明愛は一九八八年、四十九歳の時に日本に来た。大分大学大学院に留学中だった次男の様子を見るためだった。その時に天台宗寺院住職の当病平癒を行ったのが縁となり、寺院の仏像や国東半島に点在する石仏に興味を持った。比叡山に行ってみようと思いついて車を運転して出かけたが、道に迷った。着いたのは、大津市坂本の天台宗務庁だった。応対に出た女子職員はどうしていいかわからなかった。なにしろ、明愛は日本語がほとんど話せなかったのである。当時財務部長だった大分出身の植田恵秀が応対に出た。天台宗の寺を訪ねて歩く明愛のことはすでに九州では有名だったので、ピンときた。植田が書いてくれた地図をたよりに、彼女はようやく比叡山にたどり着き、三日間籠もって祈願をした。

「特に母は、仁旺山（インワンサン）で関妃（ミンシビ）の菩提を弔うのを日課としていました」と聞いたときに、私は恥じる思いであった。関妃は李氏朝鮮王朝末の王妃である。「露、清、日などの諸外国の圧力を跳ね返した」美貌の女性で、韓国では国母と呼ばれる。明治二十八年、日本軍と警察が乱入して、彼女を暗殺したのである。「仏教を学べば、恨みでは物事が解決しないことがわかります。先の戦争のことも私は恨みません。今、日本と韓国がゴチャゴチャしていますね。それが辛いことです。」

軽いか重いか神秘の鍾

韓流がブームである。しかし、数人のスター誕生によってこれまでの歴史のこれが一気に氷解すべきものだろうか。政治による解決は、いっそ危うさをほらむ。末端の人々の地道な交流と理解による。

国よりも宇宙の仏を

浮き沈みの激しい人である。三十八歳の時に夫の経営する会社が倒産し、家族六人は行き場を失った。夫は「一家心中しよう」と言った。明愛は言った。「どうして死ぬの。今が一番じゃないの。これから上がるしかないの。これに幸せになるのが私には見える」。そして韓国では有名な

「あなただけ愛してる」という歌を、夫に歌って聞かせたという。夫は号泣した。それから仏道修行するために、夫に四人の子どもを預けて三年間山に籠もった。その後、韓国や、中国で有名な師匠について、仏教・儒教・仙教の研鑽に励んだ。山を出たときに、当時の朴大統領側近を病氣から救ったこと

日本語は日常生活には十分だが、複雑な話にはまだたどたどしさが残る。「日本人は、ほとけ。韓国人は大将」あの、それは、韓国人はプライドが高いが、日本人は謙虚だという意味ですか？「そうですね！あなたたわかって」という具合である。今、お金はないが心配はしていない。この活動所も家主に、これだけしかないと直接交渉して手に入れた。「お金のことがばか、考えていたらお金は逃げるよ。相手のために働くことを第一に考えないと」。焚くほどは風がもてる落ち葉かなである。スリランカの津波被害を聞いたときに、直ちに現地に行きたかったが、先立つものがなかった。地団駄踏む思いだったが、突然に保険会社から振り込みがあった。数カ月前に交通事故を起こされた時の慰謝料だという。たいした怪我もなかったもので、とくに忘れていた。その金を握って救援に飛んでいった。救援活動に感激したスリランカの政府高官が「お礼をしたい」と申し出た。「それは、仏舍利を下さい」と要求した。談笑していた周囲が凍り付いた、と笑うのである。

明徳院の前には、椰子の実を半分切ったような「木」が置いてある。これは、韓国で生活改善運動を行っていた李博士の所にあったものを、明愛が三拜九拝して譲り受けたものである。仏さまの前に置かれたそれは「神秘の鍾」と名付けられている。悩む人が持ち上げてみて、軽ければ願いがかない、重ければダメなのだという。前に立つて見ていると、市場を行き交う人々が、持ち上げてみたり下ろしたりしている。

「明愛さんを訪れる人も多いし、信頼は厚いですよ。それに、この辺は結構偏屈な人も多いんですけど、院主さんの怒った顔は見たことない」と林は言う。けっこう市場界限の人気者なのである。が長期不在になるときは、林はじめ町内の人が、この鍾を預かって、朝出しては、夕方取り入れるという。あたたかさも、町内の守り本尊のようになっているのだから。では、私も「神秘の鍾」を持ち上げてみた。……何度やっても、重かったのは残念だった。



神秘の鍾を持ち上げる林さん



大阪・鶴橋駅前市場にある明徳院前で

ともあり、四十六歳の時にソウルに地下一階、地上四階のビルを建ててしまふ。が、そのビルも借財の整理と、家族への財産分与と売却され、また裸一貫となった。「仏教を学んで、自分の世界などというものはないことが解ったのです。自分の体ひとつをとってみても自由にすることも出来ない。吠いている花ひとつ創造することもできない。ただ生かされているということが解りました。だから、夫も、子どもも私のものなんかじゃない。みな仏だということが解りました。」修行の時に精進を保つと誓った。酒、たばこ、肉、魚はもちろん、ニンニク、ネギ、ニラ、タマネギなどは以来一切口にしない。「誰が見ていなくても、仏さまとの約束ですからね。おかげで病気が治りました。」では、イメージが貧困で恐縮ですが、韓国名物のキムチなどはどうされますか？「ニンニクなしのキムチを自分で作りますから大丈夫。ギョーザも食べてみて。」ご馳走になったニンニクなしのキムチは、日本の白菜漬けによく似た味だったし、シイタケ、ニンジンや豆腐を餡にした精進ギョーザはヘルシーで美味であった。帰りに鶴橋商店街と一緒に歩いた。買い物客で賑わい始めた商店の主人が次々と明愛に挨拶する。彼女は、市場の風景に自然にとけ込んでいるのである。韓国と日本の仏教事情をもっと話してみたいが、今日の食を真剣に求め、値切り、笑いさざめく人々の前に、ああだ、こうだという頭の議論は無駄なことのように思えた。不思議に、この迷路のような市場にひしめく人々が仏に思えてくる。俗の象徴である市場の中に寺があるというものは象徴的だった。明愛の背中が言っている。「韓国も、日本も、アジアも、アメリカ、ヨーロッパもあるものか。仏は宇宙だ。」

第2期 續天台宗全書 新発売

全十巻 予約購入募集中！ 天台宗特価

◎前半一括前払い 100,000円 (5巻代金・消費税・送料込)

◎各巻前払い 21,630円 (1冊代金・消費税・送料込)

ご購入には上のどちらかをお選び下さい。

入手困難な佛典の画期的翻刻印刷 天台宗典編纂所編 春秋社刊行

第2回配本 **宗要光聚坊 下**

天台宗典編纂所 FAX 077-579-6639

ぜひ寺院に1セットお備え下さい。

■お問い合わせ 天台宗典編纂所 電話 077-578-5190

第1期全15巻は完結終了しました。有り難うございました。

一隅を照らそう

文・出版編集長 横山和人

コンパス
天台宗宗機顧問
杉谷義純



と情報
社会
匿名
個人

今、社会のあちこちで異変が起きている。学校の担任の先生に手紙を出そうとしても住所がわからない。旅行社主催のグループ旅行に参加したが、お互いの名簿もないので、なんとなくなじみず、よそよそしい旅行だった、などなど。これは本年四月から施行された個人情報保護法の余波である。なかには警察の犯罪捜査の照会も断わる病院まであるという。

忙しいときに飛んでいつて受話器をとったらセルルの電話で、腹が立った経験のない人はいないだろう。電話帳から無作為に選んだといわれればそれまでだが、プロの業者がそんな効率の悪い方法をとるはずがない。名簿屋と称する業者が、業界や同窓会名簿などをコピーして売っているのである。さらには家族情報やセクハラ詐欺のもととなったりしている。

今や個人情報は科学技術の進歩によって、瞬時に読みとられ、大量に印刷されたりフロッピー化され、また世界を駆けめぐることが可能になってしまった。悪用による被害が増えた所以である。かくして個人情報保護法が成立したが、問題が少なくない。プライバシーは守られるべきだが、過敏になり過ぎると弊害も多くなる。

地域住民の相互の情報交換が、災害救援のとき

救出者の確認や行方不明者の探索に支障を来すだろう。また防犯上も力を削ぐことになりかねない。さらに匿名性が進むと犯罪を呼び起こすことになる。インターネット上の匿名による中傷や批判は、現在取り締まれないだけに質が悪い。誰にも知られずに行動できると解ると、人間は悪事に走り易い、その一例だ。

昔の親は「悪いことをしたら、誰も見ていないと思っても、お天道さまが見ているからね」と子どもを叱つたものだ。仏教では広大無辺な宇宙の摂理を毘盧遮那仏と名づけ、私たちは太陽をその象徴として、お天道さまと拝んできた。そして私たち一人ひとりの営みも宇宙の摂理の一部として生かされ、相互に関係性があるので、各人に仏性が宿っている、というのである。いくら理屈をつけても、自分の心は何をしたか知っている。自分の心、すなわち一部分が知っていることは、全体すなわち仏さまも知っているということだ。お天道さまはお見通しなのである。やがて天罰が下るのは必定であろう。技術に溺れて悪事を行えば、技術によって摘発されるだけではなく、規制の網まで被せられてしまうだろう。

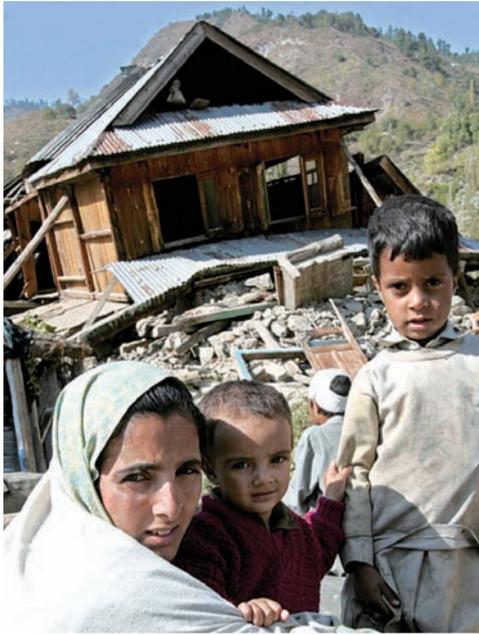
人間は適当な距離を保ちながら相互の関連性の中で生きていくものである。匿名社会など存立し得ないことを銘記すべきであろう。

マフチュート
パキスタンでM7.6の大地震

宗内寺院・檀信徒に広く募金を呼び掛け

十月八日にパキスタン北部で起きた大地震はマグニチュード(M)七・六と、阪神淡路大震災の十一倍以上のエネルギーで、パキスタン・インド両国にわたり、数万人に及ぶ犠牲者と三百万人近い避難民を出す、未曾有の被害をもたらした。

スマトラ沖大地震や、米国のハリケーン被害を始め、世界各地で相次いだ自然災害の記憶も新しい中での大災害の発生だった。日本を始め世界



各国から救援の手が差し伸べられているが、復興には相当の時間と労力、費用がかかる

と見られている。

地震から4週間以上経過した現在でも、救援の手が届かない場所がある(写真=ロイター・サン)

一隅を照らす運動
地球救援事務局

パキスタン地震緊急支援について

●郵便振替
口座番号 01050-1-69505
加入者名 一隅を照らす運動総本部
通信欄 「パキスタン地震支援金」
締切日 平成17年11月15日

*締切日以降にご送金くださった場合は、緊急救援募金としてお預かりさせていただきます。

天台宗では、一隅を照らす運動総本部「地球救援事務局」を窓口として、今回の大地震に対する救援活動を立ち上げ、宗内寺院・檀信徒を中心に広く募金を募り、支援をしていくこととなった。

12月1日は全国一斉托鉢

『慈愛の心で助け合い』をスローガンに、今年も12月1日に、「天台宗全国一斉托鉢」を実施いたします。



毎年、全国で展開されているこの一斉托鉢は、大きな成果を上げており、その浄財は、地域還元のために社会福祉施設やNHK歳末助け合いなどに寄託しております。また、長期にわたり実施できるように、12月を「地球救援募金強化月間」と定めております。一斉托鉢にご参加、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

参加・協力のお問い合わせは

・最寄りの天台宗寺院 又は
・一隅を照らす運動総本部
(077-579-0022) までお願いいたします。

天台トピックス

- ◎功労者を表彰
平成十七年度の天台宗功労者表彰が、十月二十四日、延暦寺大書院で行われ、渡邊恵進天台座主猊下から表彰状が手渡された。
 - ・住職勤続五十年 15名
 - ・住職勤続三十年 46名
 - ・一宗公職勤続功労 15名
 - ・布教功労者 21名
- ◎中央研修会を開催
十月十四日、寺庭婦人連合会(大沢和世会長)では、延暦寺会館で中央研修会を開催、二百二十名が参加した。翌十五日には、西郊良光宗務総長を導師に、開宗千二百年大法会慶讃「寺婦の日」報恩法要を厳修、連合会役員と教
- ◎区代表者が百味供養を行った。
天台宗延寿会(半田孝淳会長)では、十月二十四日、延暦寺会館を会場に、平成十七年度の総会を開催し、名誉会長の渡邊恵進天台座主猊下、両内局を迎え、全国から三十五名が参加し盛大に執り行われた。
- ◎教学大会
11月11日～12日 大正大学
- ◎中央布教研修会
11月11日～12日 大正大学
- ◎檀信徒祖山参拝研修会
11月28日～29日 延暦寺会館

総本山延暦寺御用達

遠藤新兵衛商店

〒600-8334
京都市下京区油小路通六条南入
電話 (075) 351-1367
FAX (075) 351-1476



電話システム機器・FAX・携帯電話・パソコン
放送・映像機器・防犯監視・警報機器・設計・施工

N T T 西日本電信電話株式会社代理店 システムコンサルタント

共立通信機工業株式会社

代表取締役 村井博

〒600-8875 京都市下京区西七条石井町30-19

TEL (075) 321-1333 (代) FAX (075) 313-7449
E-mail kyouritsu@dab.hi-ho.ne.jp

総本山延暦寺
天台宗務庁
御用達

各地で一隅を照らす運動大会開催

瀬戸内師の青空講話 や中国楽器演奏など —— 京都大会

十月十八日、京都国立博物館を会場に、一隅を照らす運動



【報告・穴穂行仁師】

動京都大会（羽生田寂裕本部長）が開催された。大会は、中国楽器の揚琴と尺八合奏にはじまり、瀬戸内寂聴師が「青空講話」と題し、伝教大師のみ心をわかり易く話された（写真）。特に今回は、「最澄と天台の国宝展」が催されていることもあり、約千五百人に及ぶ人々で会場は埋め尽くされた。

田中康夫長野県知事 を講師に招く —— 名古屋大会

十月十六日、名古屋市国際会議場で、一隅を照らす運動名古屋大会（村上圓童本部長）が開催され、約三千名が参加した。

大会は、長野県知事田中康夫氏を講師に、「生命・奉仕・共生」と題した講演が行われ（写真）、「一人ひとりの力は小さいけれども、郷土を愛する愛郷心、隣人を愛する愛隣心を持つことが、一隅を

照らすにつながる」と話された。

引き続き、



インド禅定林住職サンガラトナ・法天・マナケ師から「インド禅定林」の現状報告があり、その後、天台声明とグレゴリオ聖歌共演のコンサートに、参加者は荘重な雰囲気にもまれていた。

根本中堂で報恩法要を厳修

～ 開創三十周年を記念して～

米国ハワイ州ホノルル市にあるマノア高岩寺（ローズ・慈久住職）は、今年、同寺創建三十周年を迎え、これを記念して、去る十月七日、ハワイから祖山参拝団一行三十五名が総本山延暦寺を参拝。根本中堂において祖師への報恩

法要を執り行った。

今回の祖山参拝は、本年が同寺創建三十周年であり、それと共に開創二百年大法会期間中であることから行われたもの。

一行は、法要のあと、延暦寺諸堂を参拝、特に「ローズ

鹿にちなんだ落語会 桂文師匠「落語でめぐる鹿のまち」 ～兵庫県・春日町 常楽寺で賑やかに～



兵庫県春日町鹿場の常楽寺（板倉有海住職）において、去る九月二十五日の夜に落語会が開催された（写真）。

落語家の桂文鹿さんは、自分の名前に鹿の字を使っていることから「全国各地の「鹿」のつく地名で「落語でめぐる

鹿のまち」と題した落語会を開いている。その縁でこの落語会が実現したもの。

当日は、文鹿さんのほか、笑福亭遊喬さん、林家卯三郎さんの噺家たちが、お寺や僧侶をテーマに落語や小話を披露した。

7名の新発意 新たに僧侶の道へ

埼玉教区得度式挙行さる



去る八月三十日、埼玉教区宗務所（大里郡・森田幸雄宗務所長）を会場に、平成十七年度埼玉教区得度式が厳かに

執り行われ、七名の新発意が僧侶として第一歩を踏み出した（写真）。
十歳から三十九歳までの得

デスクから

先日まで汗をかく陽気だったのに、一転してコートが欲しいほど気温が下がる。年々爽やかで過ごしやすい時期が少なくなる。地球温暖化の影響、どうだろうか？ ●十月にカレンダーと新年号をお送りしました。「もう少し早く見本が届くようにして欲しい」という

度者は真剣な面持ちで、師僧はじめ親族、教区役職員の見守る中、戒師の森田所長からお剃刀を受けた。
当日は晴天に恵まれ、真新

お叱りを頂いています。来年からは、そのように手配しますので、ご容赦下さい。沢山のお申し込みをお待ちしております ●郵政民営化の波か、大津市の坂本郵便局も窓口だけ残し、発送業務は大津中央郵便局に変わりました。それに伴う、印刷物の発送変更手続きが生じています。不都合のないよう手配をいたしますので、宜しくご了解下さい。

祝 新任職任命

住職の修行をした行院を訪れたい」との参拝団メンバーの要望があり、清原恵光行院長の計らいで秋期行院生の実習を見学した。
メンバーたちは、実習道場の畳が変色したり、擦り切れている様子を、行の厳しさを実感した様子だった。

示寂

尾市 圓龍師
平成17年10月25日遷化
兵庫教区妙光院名誉住職
10月28日日本葬儀執行

【報告・木本清玄通信員】

天台宗出版室 新刊のご案内

天台大ブクレット 39号
定価 80円 (消費税含む)

ともしび 97号
定価 80円 (消費税含む)

お求めは 天台宗出版室
TEL 077-579-0022 FAX 077-578-4814 まで

訂正 第三十一号の兵庫・教区教師学研修会の記事で、「池坊華道会道倉正元三氏」とありましたが、正しくは「池坊華道会名倉正之氏」でした。謹んでお詫びし、訂正いたします。

特別授戒会執行状況 (10月21日現在)

◆信越教区	津金寺	9月28日	戒弟190名
	曼殊院探題大僧正		

特別授戒会の状況と予定は、ホームページ <http://www.tendai.or.jp/> からご覧頂くことができます。

最澄と天台の国宝

天台宗開宗1200年記念 特別展覧会
Faith and supernism:
Sancho and
Treasures of Tendai

特徴と魅力

(最終回)

京都国立博物館工芸室長 久保 智康

Ⅵ 京都の天台

展覧会も会期の半ばとなりました。連日、多くの方に観覧いただき、好評を博しています。一日からの後期展では、絵画・書跡の大半が展示替えされておりますので、二度、三度とおいでになる方も少なくありません。お誘い合わせの上、ご来館ください。さて、展示の最終コーナーは、千二百年の都、京都と天台宗の関わりをテーマとしています。

天台宗は、桓武天皇の信任



重要文化財 薬師如来坐像 雙林寺蔵

を得て開宗して以来、王城鎮守の宗として、都の人々の信仰を集めてきました。貴顕の求めに応じ、修法を執り行う一方で、薬師如来や

観音菩薩、不動明王、さらには聖天、三宝荒神などの仏菩薩を奉じた祈祷を行う天台寺院は、京都の民衆の参詣する空間でもありました。京都は、親王が入寺して興った五箇室門跡(三千院・妙法院・青蓮院・曼殊院・毘沙門堂)も擁しています。歴史上、天台座主をはじめ、延暦寺の要職を務めた高僧の多くは京都に住まっています。京都は延暦寺の巨大な門前町だったので。京都には現在六十余カ寺の天台宗寺院があります。京都国立博物館では、約一年半をかけ全寺院の文化財調査を行い、いくつもの重



金銅羯磨 護淨院蔵

要作品を発見しました。鞍馬・地藏寺の阿弥陀如来坐像、丹波・福林寺の毘沙門天立像など、平安・鎌倉時代の古仏に目を見張りました。荒神口・護淨院や青蓮院では羯磨・飯食器という密教法具の京都で最古級の品々が見つかり、毘沙門堂では江戸初期の豪華な三葉葵紋時絵密壇が今も使われていたりして、京都天台寺院の歴史の奥深さを思い知らされました。

これら初公開品に、東山・雙林寺の薬師如来坐像や大原・来迎院の釈迦如来坐像など、重要文化財の本尊仏も加え、各寺院の代表的宝物を紹介いたします。

◎関連国際シンポジウム

『仏教美術にとつての東アジア往還』渡海僧たちがもたらしたものの』

パネラー 王勇(中国)、鄭于澤(韓国)、百橋明穂・内藤榮(日本)の各氏

日時 11月12日(土) 午後一時より

会場 国立京都国際会館

申し込みの問い合わせ 京都国立博物館 電話 〇七五-五三一-七五〇四

雪が溶けて 川となって

中尊寺貫首 千田 孝信

(8)

「絢子ってさ。言いたいコトとか、思ってるコトとか、けっこう我慢しちゃったり、なんかこう、相手を傷つけないように、嫌な思

その線、消そうよ!

——小中不登校だった高校生の手記

いさせないように、一生懸命をつかいて、なんていうか、相手を思いすぎて、自分を大切にしない話しかたするよね。なんかさあ。線を引いているん

嘩だつてしたいよ。喧嘩できるよになろうよ。自由にならんよ。誰もそれを非難したりはしない。むしろそういう絢子とトモダチになりたい人のほうが多いと思うよ」

ある友だちから、こう言われた瞬間「あゝーこの人のこの言葉を聞くために、今まで生きてきたんだ」と私は思った。大袈裟だけど、この言葉で初めて自分を自分から解放できたと思う。それから、人とかかわるのが楽しみになった。少しずつ自分の感情を出せるようになった。泣いたり怒ったりができる。本当に笑えるようになった。楽しいときに本気で笑っている自分がいることを嬉しく思える。自分が笑っていることで、みんなが笑ってくれるように



カット・河崎孝彦「白クマ」 (アトリエ・ウーフ)

素晴らしき 言葉たち

それ、三界は、ただ心一つなり。心、もし安からずは、象馬・七珍もよしなく、宮殿・楼閣も望みなし。今、さびしきすまひ、一間の庵、みづからこれを愛す。

「方丈記」 鴨長明

方丈記は「ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず」で有名です。その中にある言葉。「仏の教えでは、この世界というものは心の持ち方一つである、といっている。心がかもし、安らかでないなら、象馬、七珍といわれる財宝があつても何の意味もなく、宮殿、楼閣も同じ。今、寂しい一間の庵に住んでいるが、この生活を心から愛している」という意味です。

人は足し算だけでは幸せになれません。バブルの頃は、競うように土地や物を買い込みました。しかし、他人との際限のない欲望競争では、心の安らぎなど無かったはず。その後の経済不況下でも物への執着はなかなか捨てられず、それにまつわる悲惨な事件も多くなりました。しかし、もうそろそろ捨てること、引き算を考えた方がよさそうです。大切なことは自分の中にあります。「ただ心一つなり」という言葉を味わってください。価値の基準を他に求めず、自分の心の安らぎに置くことが必要です。

天台宗開宗1200年記念 特別展覧会

最澄と天台の国宝 割引引換券

売札窓口にてこの部分を切り抜いてご持参下さい。下記割引料金でご入場頂けます。1枚につき1名様限り。他券との併用不可。

10月8日(土)~11月20日(日) 京都国立博物館(京都市東山区)

休館 月曜日、但し祝日は開館し翌日休館

開館 9:30~18:00、金曜は~20:00 (入館は閉館30分前まで)

主催 京都国立博物館、天台宗、比叡山延暦寺、天台宗京都教区、読売新聞大阪本社 他

一般 1300円 → 1200円
高大生 900円 → 800円
小中生 400円 → 300円

事前に10枚以上ご購入の際は、さらにお得な割引価格でご提供いたします。

詳しくは:読売新聞大阪本社文化事業部 (06-6366-1809)